

青山中学校 避難所運営訓練

- ◆日 時 平成22年7月3日（土曜） 15:00～17:00
- ◆場 所 青山中学校
- ◆参加者 青山一丁目町会、南青山一丁目町会、北青山一丁目住宅自治会、
北青山一丁目町会、北青山一丁目アパート3・4号棟自治会、
(計67名)
(協力：青山中学校、港区防災課、赤坂地区総合支所、赤坂消防署)
- ◆訓練内容 避難所運営マニュアルに基づいた訓練（以下参照）

●協議会本部設置担当

- 1階備蓄倉庫から必要物資を木工室に運び出し、協議会本部を設置します。
- 避難場所やそこまでの経路の安全確認を行い、そこに避難者への案内の貼り紙を貼ります。



【本部立ち上げに必要な物資を運びます】



【経路の制限も行います】

●情報集約・活動調整担当

- 青山中ブロックの防災マップを用意します。
- 町会・自治会の方や避難者からの地域の被害状況報告をもとに、防災マップに被害状況を落としこみます。



【防災マップに被害状況を集約します】



【情報の発信方法も重要です】

●避難者誘導・居住班編制担当

○一般者用避難場所（２階体育館）を町会・自治会ごとに区分けします。

○団体ごとに区分けすることで、物資の配給等を効率良く行えます。



【養生テープ等を用いて区分けします】



【体育館にある資材も活用します】

●負傷者・要援護者担当

○１階ホールに救護所・要援護者用避難所を設置し、包帯法、ＡＥＤ操作方法などを訓練します。



【ＡＥＤの操作方法を訓練します】



【包帯法も訓練します】

●照明・仮設トイレ設置担当

○１階備蓄倉庫から、仮設トイレや投光機、発電機を運び出し、設置します。

○青山中学校の仮設トイレはマンホール式のトイレです。



【校庭にマンホールトイレを設置します】



【トイレはルールを守って使うことが重要です】

第2回

青山中学校 避難所運営訓練

◆日 時 平成23年11月26日（土曜）

□第1部（避難所立ち上げ訓練） 13:00～14:30

□第2部（避難者受入れ訓練） 14:30～16:00

◆場 所 青山中学校

◆参加者 199名

□青山地区防災協議会員（立ち上げメンバー含む） 56名

□青山中学校PTA 12名

□避難者役 106名

□学校、消防署、港区（防災課、赤坂地区総合支所） 23名

□事業者（葛飾福祉工場、グリコ） 2名

◆訓練内容 第1部（避難所立ち上げ訓練）

青山地区防災協議会員と青山中学校PTAを中心に、6つの担当に分かれて避難所の立ち上げに係る作業を行いました。

第2部（避難者受入れ訓練）

避難所の立ち上げ作業を行ったメンバーが、避難者役の方々を受け入れる準備作業を行いました。

また、校内には複数の訓練体験ブースを設置し、参加者の方々が自由に体験しました。

＜第1部 避難所立ち上げ訓練の様子＞

●協議会本部設置担当

○防災備蓄倉庫から1階 木工室に避難所運営本部立ち上げセットを運び出します。

○学校内を避難所として使用するための準備として、貼り紙の貼付や受付を設置します。



【貼り紙で校舎内に制限をかけます】



【1階玄関ホールに受付を設置します】

●情報集約・活動調整担当

- 青山中ブロックの防災マップを用意し、町会・自治会の方々や避難者からの地域の被害状況報告をもとに、防災マップに情報を集約します。
- 災害時の連絡手段として有効な特設公衆電話の設置も行います。



【防災マップに被害状況を集約します】



【電話がつながりにくい災害時にも使用可能な優先回線】

●避難者誘導・居住班編制担当

- 一般者用避難場所（2階 体育館）を町会・自治会ごとに区分けをします。
- 物資の配給等を効率良く行ううえで、通路の確保は重要です。



【ロールカーペットを用いて通路を確保します】



【区分けをしたらしっかりと明示します。】

●負傷者・要援護者担当

- 1階ホールを2つに仕切り、救護所と要援護者避難所を設置します。
- 負傷者の搬送を想定し、応急救護訓練を行いました。



【1階ホールに救護所と要援護者避難所を設置】



【AED操法や包帯法を身に付けます】

●照明・トイレ設置担当

○防災備蓄倉庫から、校庭にマンホールトイレ、発電機や投光器を運び出し、設置します。



【マンホールトイレが10基設置できます】



【マンホールの上に便座とテントを設置します。】

●炊き出し担当・青山中学校PTA

○アルファ米と豚汁の炊き出しを行い、災害用バーナーの取扱い方法を確認します。



【アルファ米にお湯を注ぎます】



【調理室で豚汁の下ごしらえをしました】

＜第2部 避難者受入れ訓練の様子＞

●避難者受付

○1階 玄関ホールの避難者窓口（受付）において、避難者の対応を行います。

○一斉に多くの避難者が入場しないように調整し、避難所の統制を図ります。



【避難者受付のようす】



【人数調整をしながら、体育館へ誘導します】

●避難者誘導・居住班編制

○避難者を一般者用避難場所（2階 体育館）に誘導し、町会・自治会ごとにまとまるよう指示をします。

○同じ組織の避難者がある程度集まったら10名程度の居住班（※）を作り、居住班ごとに名簿を作成します。 ※居住班・・・避難所内で生活・行動をする班



【避難場所では組織ごとにまとまります】



【居住班ごとに班長を決め、名簿を記入します】

●防災訓練

○防災備蓄倉庫見学 ○初期消火器訓練 ○応急救護訓練 ○災害用伝言ダイヤル体験
○起震車体験 ○炊き出し訓練 ○防災・講習相談コーナー ○災害用品展示コーナー



【消火器の設置場所も把握しておきましょう】



【グラっときたら身の安全を確保！】



【大好評だった豚汁。配給のようす】



【みなさんでおいしく召し上がりました】

第3回

青山地区防災協議会×青山中学校

青山中学校 避難所運営訓練

◆日 時 平成24年11月17日（土曜）午前9時～午後1時

◆場 所 青山中学校

◆参加者 296名

□青山地区防災協議会員（立ち上げメンバー含む）	49名
□青山中学校生徒・教職員	154名
□青山中学校PTA	10名
□青南小学校	1名
□避難者役	60名
□赤坂消防署、日本赤十字奉仕団青山分団	12名
□港区（防災課、赤坂地区総合支所）	10名

◆訓練内容（青山地区防災協議会）

第1部（避難所立ち上げ訓練） 10:00～11:30

青山地区防災協議会員と青山中学校PTAを中心に、6つの担当に分かれて避難所の立ち上げに係る訓練を行いました。

第2部（避難者受入れ訓練） 11:30～12:05

避難所の立ち上げ作業を行ったメンバーが、避難者役の方々を受け入れる準備訓練を行いました。

また、校内には複数の訓練体験ブースを設置し、参加者の方々が自由に体験しました。

◆訓練内容（青山中学校）

事前講習会 9:00～10:00

1、2年生（防災資機材取扱訓練） 10:00～12:05

日赤青山奉仕団の指導のもと、応急救護訓練をはじめバーナーの使い方、マンホールトイレ、特設公衆電話の設置方法を学びました。

3年生（訓練サポート）

避難所運営訓練のサポート役として、炊き出しの準備及び配給、記念品の準備、会場設営等を行いました。

＜避難所運営訓練の様子 青山地区防災協議会＞

第1部(避難所立ち上げ訓練)

●協議会本部設置担当

○学校内を避難所として使用するための準備として、貼り紙の貼付や受付を設置します。



【避難所の統制を行います】



【避難者を受け入れるための準備をします】

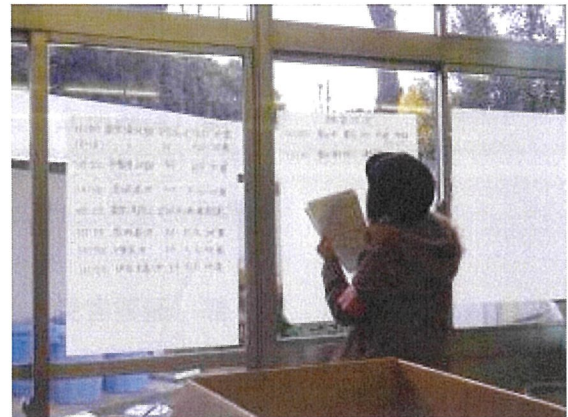
●情報集約・活動調整担当

○青山中ブロックの防災マップを用意し、町会・自治会の方々や避難者からの地域の被害状況報告をもとに、防災マップに情報を集約します。

○避難所に必要な情報（インフラ、交通情報等）を避難所入り口付近に掲示します。



【地域内の被害情報を集約します】



【避難所に必要な情報を掲示します】

●避難者誘導・居住班編成担当

○一般者用避難場所（2階 体育館）を町会・自治会ごとに区分けをします。

○物資の配給等を効率良く行ううえで、通路の確保は重要です。



【備蓄倉庫からカーペット等を運び出します】



【カーペットで町会・自治会ごとに区分けします】

●負傷者・要援護者担当

○1 階ホールを 2 つに仕切り、救護所と要援護者避難所を設置します。

○負傷者の搬送を想定し、応急救護訓練を行いました。



【要援護者の受付を行います】



【赤坂消防署による応急救護訓練】

●照明トイレ担当

○防災備蓄倉庫から、校庭にマンホールトイレ、発電機や投光器を運び出し、設置します。



【当日は雨天のため屋内に設置しました】



【マンホールトイレ完成の様子】

●炊き出し担当

○アルファ米と豚汁の炊き出しを行い、災害用バーナーの取扱い方法を確認します。



【材料の下ごしらえをします】



【豚汁はバーナーで調理をします】

第 2 部(避難者受け入れ訓練)

○第 1 部で避難所受け入れ訓練を実施したのち、午前 11 時 30 分より避難者の受け入れ訓練を行い、60 名の避難者を受け入れました。

●事前講義

○避難所の概要、地域防災協議会の役割及び中学生の役割、当日の流れについて赤坂支所の防災担当職員より講義を受けました。



【事前講義の様子】

●1、2年生

○1、2年生は組単位で班分けをし、ローテーションで4つの訓練を実施しました。

①応急救護訓練

日本赤十字奉仕団 青山分団の指導のもと、三角巾を使用した止血法や包帯法を学びました。

②バーナー操作訓練

バーナーの使い方や火の取扱いをする際の注意事項を学びました。

③特設公衆電話設置訓練

特設公衆電話の設置方法や災害伝言ダイヤルの使用方法を学びました。

④マンホールトイレ設置訓練

マンホールトイレの設置及び撤収方法について学びました。



【応急救護訓練】



【バーナー操作訓練】



【特設公衆電話設置訓練】



【マンホールトイレ設置訓練】

●3年生

○3年生は避難所運営訓練全体のサポート係として活躍しました。

①記念品の準備

訓練参加者に配布する記念品の袋詰めから運搬までの準備を行いました。

②ダンボールハウスの設置

避難所展示の一部として、ダンボールハウスの組み立てを行いました。

③飲食スペースの準備

訓練参加者が炊き出しを食べるスペースに、ビニールシートを敷き、イス・長机を設置しました。

④炊き出しの盛付及び配給

出来上がったアルファ米や豚汁の盛付けをし、訓練参加者へ配給をしました。



【記念品の準備】



【ダンボールハウスの設置】



【飲食スペースの準備】



【炊き出しの盛付・配給】

第4回

青山中学校ブロック 避難所運営訓練

◆日 時 平成26年6月27日（金曜）

□無線機訓練 18:30～19:00

□避難所立ち上げ訓練 19:30～21:00

◆場 所 青山中学校

◆参加者 75名

□青山地区防災協議会（立ち上げメンバー含む） 62名

□青山中学校職員 2名

□赤坂消防署、赤坂地区総合支所 11名

◆訓練内容

無線機訓練

職員室にて、赤坂地区総合支所と青山中学校を結ぶ、無線機を使用し、連絡を取り合いました。

同時にトランシーバーも体験し、使用方法について、確認作業を行いました。

避難所立ち上げ訓練

青山地区防災協議会を中心に、本部長指揮の下、参加者を4つの担当班に分け、その後各担当に分かれて避難所の立ち上げに係る作業を行いました。

●無線機訓練

○支所と青山中学校を結ぶ無線機の訓練、使用方法の確認を行います。

○トランシーバーの使用方法について確認をします。



【トランシーバーの使用方法を確認します】



【事前の打ち合わせを行います】

＜避難所立ち上げ訓練の様子＞

●本部長指揮の下、参加者を班分け

- 参加者が混雑している中、木工室にて本部長（1名）、副本部長（2名）を選出し、本部長指揮の下、参加者を4つの班に分けます。
- その後、4班に分かれて活動を開始します。



【班分けを行います】



【ライトを使いながら活動します】

●協議会本部設置担当

- 防災備蓄倉庫から1階 木工室に避難所運営本部立ち上げセットを運び出し、協議会本部を設置します。
- 各班の状況をトランシーバーで受け取ります。
- 貼り紙による立入禁止場所等の表示、経路の制限を行います。
- 1階玄関ホールに避難者受付窓口を設置します。



【各班の状況をトランシーバーで受け取り、随時確認します】

●情報集約・活動調整担当

○防災備蓄倉庫から1階 木工室に救急救命セットを運び出し、中にどんなものが入っているのか一つ一つ確認をしました。



【救出救助セットを広げるためスペースを確保します】

●避難者誘導・居住班編制担当

○備蓄倉庫から、区分け用のロールカーペット、毛布、カーペット、多目的ハウスを2階体育館へ運び出します。

○一般者用避難場所（2階 体育館）を町会・自治会ごとに区分けをします。

○物資の配給等を効率良く行ううえで、通路の確保は重要です。



【声をかけあいながら体育館へ移動します】



【多目的ハウスも設置しました】

●照明・トイレ設置担当

○防災備蓄倉庫から、体育館に発電機、投光機を運び出し、設置し、明かりを確保しました。



【投光機を設置します】



【投光機を使うとここまで明るくなります】

第5回

青山中学校ブロック 避難所運営訓練

◆日 時 平成28年6月28日（火曜）

□地域集合場所からの参集訓練 18:00～18:30

□避難所立ち上げ訓練 18:30～20:00

◆場 所 青山中学校および各地域避難所

◆参 加 者 57名

□青山地区防災協議会（立ち上げメンバー含む） 47名

□青山中学校 2名

□赤坂消防署、赤坂警察署、赤坂地区総合支所 8名

◆訓練目的

今回の訓練は、避難所の立ち上げをメインとして、参加者が一つの班で作業するのではなく、誰でもどこの班になっても対応できる様に、各班の行なう内容を広く習得する事を目的としました。また、地域集合場所から青山中学校まで参集する間の危険箇所等の洗い出しを行ない、発災時の対応を考える事を目的としました。

〈地域集合場所からの参集訓練〉

- 各町会の地域集合場所から青山中学校へ参集し、その間の危険箇所等を確認しました。
また、トランシーバーを使用し、お互いの情報交換をかねて、電波の受信範囲を確認しながら参集しました。

〈校門扉の開け方と班振り分け訓練〉

- 校門前に集合した参加者全員で、校門扉の鍵の開け方を確認しました。
- 1階ホールにて本部長（1名）、副本部長（1名）各班長（4名）を選出し、本部長指揮の下、参加者を4つの班に分けました。

〈防災行政無線訓練〉

- 各班毎に職員室にある防災行政無線を使用し、赤坂地区総合支所と無線訓練を行いました。

＜情報集約班の役割説明＞

- 1 階ホールにて情報集約班の班長より、情報集約班の内容を説明していただきました。
- 1 階の防災備蓄倉庫より、情報集約班のセットを取り出し、青中ブロックの被害状況を青中ブロックのマップに集約する事や、避難所に必要な情報をホワイトボードシートに記入して、一階の玄関に掲示する事などを、写真パネルを使いながら説明しました。

＜避難者誘導居住編成班の役割説明＞

- 体育館にて避難者誘導居住編成班の班長より、避難者誘導や居住説明班の説明をしていただきました。
- 1 階の防災備蓄倉庫より、毛布、カーペット、区分け用のロールカーペット、多目的ハウス 2 階の体育館に運び一般避難所を作る事を、写真パネルを使いながら説明しました。

＜照明・トイレ設置班の役割説明＞

- 校庭のマンホールトイレ設置場所にて照明・トイレ設置班の班長より、マンホールトイレの説明をしていただきました。

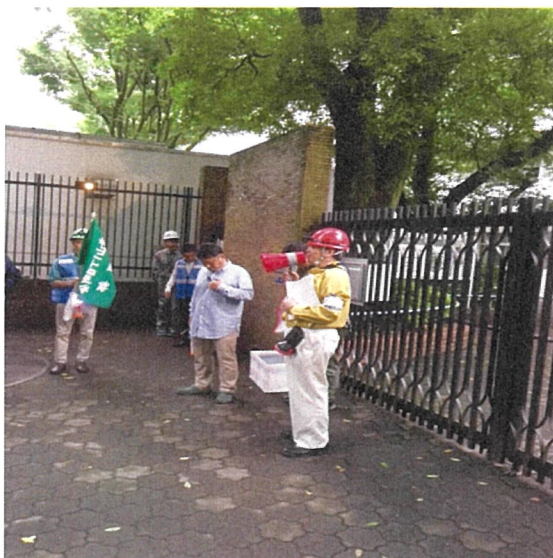
＜防災備蓄倉庫の確認＞

- 各班毎に分かれて、1 階の防災備蓄倉庫の場所とキーボックスの場所などを確認し、各班の備蓄品を確認しました。

＜アンケート用紙記入および青中ブロック避難所マニュアルの確認＞

- 防災行政無線や防災備蓄倉庫の確認時の待機している間に、参集時の危険個所や避難所運営訓練に求める事などのアンケートに記入していただきました。また、青中ブロック避難所マニュアルを参照しました。

訓練当日の様子



〔校門の扉の開け方などの確認〕



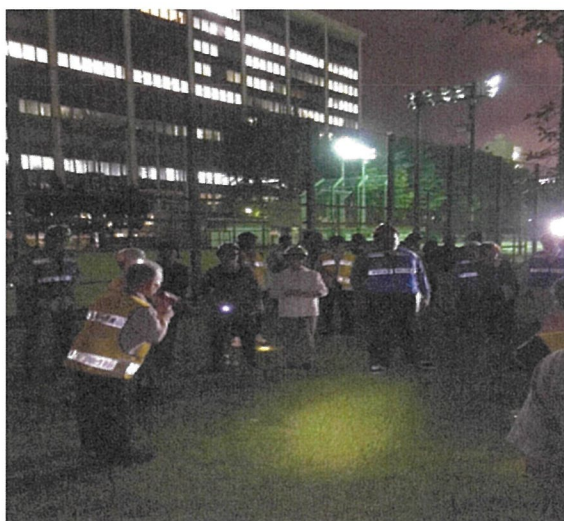
〔体育館での居住編成班の役割説明〕



〔職員室での防災行政無線の使用訓練〕



〔避難所運営マニュアルの確認〕



〔校庭でのマンホールトイレ設置の説明〕

